

やすらぎだより

1
月
号

陽気で緑にあふれた生活 それがやすらぎ園です

施設長コラムバックナンバーホームページ掲載しています。

コラム第175号

「子年の風情」

施設長 植田 誠



新年あけましておめでとうございます。令和2年の清々しい新春をお迎えのことと存じます。旧年中は、社会福祉法人やすらぎ会の各施設や各事業センター等に対し、多大なお心寄せと心温まるご意見等を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

広報誌の表紙を記すこととなって15年目の新春を迎えました。今年も施設長として、福祉に携わる一個人として、こちらに時事や日常の些事も交えながら、拙文を通して想いを表明させていただこうと思います。

年末年始の風情も時代と共に変化してきました。そう言えば、知人の散髪屋の店長さんが毎年この時期嘆いています。

「正月‘きっしょ’で髪切る人は、ホンマに少なくなりましたネ」
ごもつともと頷きながら、

「昔は床屋か散髪屋さん、今は‘ヘアサロン’と呼ぶのが当たり前。時代の遷り変わりですネ」と、分かった風に返す私。

コンビニは年中無休ではなくなり、正月は飲食店が休むのが当然の昨今ですが、このような話をすると必ずこう返されます。

「そういうお店がある所はまだマシ、休むも何も店自体がありません！」
確かに、と妙に納得もします。

初詣に足繁く通うのが今は当然の習慣ですが、そのうちインターネットで神頼みしながらドローンで宅配されたお節をいただくのも、そう遠くはないでしょう。町や村の変化は、予想を超える速さで訪れます。

今年は子年。ネズミのような機敏な動きとともに、我々に求められているのは細やかな心配りです。風習や環境が変わり、時代に取り残されそうになって、便利さや暮らしやすさは一層不安定になるかもしれませんが、そんな時こそ福祉に携わる我々の出番です。

フットワーク良く俊敏な判断、そして理念に基づく寄り添う対応。風情は変わっても変わることはない矜持で、この一年も駆け抜けます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

令和2年正月



社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- | | |
|-------------------------|----------------|
| ○特別養護老人ホーム やすらぎ園 | ○ケアハウス やすらぎ |
| ○在宅サービス事業所
居宅介護支援事業所 | ○介護予防関連事業 |
| 訪問介護事業 | ○グループホーム むつみあい |
| 訪問入浴介護事業 | ○住まいの生活支援事業 |
| ○短期入所生活介護事業 | |
| ○在宅介護支援センター | |
| ○天理市東部地域包括支援センター | |